



### ユーザー登録はコチラから

- ☑️ 新商品“限定”セール
☑️ 割引キャンペーン
☑️ お得なお知らせ etc.

ご登録頂くと共に数回お得なセール情報を送信致します。LINE または メールにて受け取り可能です。対象の各 QR コードより、是非ご登録下さい。

### Bluetoothトランスミッター (TX:送信機) のご使用の場合



※送信モードにてスマートフォンと接続する場合、音楽などの音声信号の伝送を行いますが、通話やアラーム等の音声は伝送されません。

### ◆ペアリング済の全ての端末を使用する

本体の電源を入れ MFB を短く押すと、自動的に過去にペアリングした全ての端末を使用することができます。ただし、自動的に接続されるのは最後にペアリングした2台です。

### ◆自動シャットダウン

電池電圧が3.1Vを下回ると、自動的に本体の電源が切れます。

### RX(受信)モードに切り換え



1. 電源オフの状態ですライドボタンをRXに切り換え 2. MFBを長押しして電源を入れてください。
※電源ONの状態や、電源を切った直後3秒以内にTX/RXスライドボタンを切り換えないでください。

### LEDパターン一覧

Table with columns: Mode (TX/RX), Power Status (On/Off), LED Indicators (Red/Green/Blue).

※充電しながら使用した場合、青いLEDが紫になります。

### 送信モードでの使い方 一例

テレビの音をワイヤレスイヤホンで聞きたい場合



- 1. 使用するイヤホンの取扱説明書を参照し、イヤホンをペアリングモードにしておきます。
2. JPT1をTXモードにします。(→P7)
※電源ONの状態や、電源を切った直後3秒以内はモードの切替を行わないでください。

### Bluetoothトランスミッター (TX:送信機) として使用する

例: BluetoothイヤホンやBluetoothスピーカー等をテレビ等と接続して使用する

- 1. Bluetoothイヤホン等をペアリングモードにする
2. JPT1をペアリングモードにする(→P8)
3. JPT1とBluetoothイヤホン等を近づけておきます。およそ30秒後に自動的にペアリングが完了します。

### RX(受信)モード時の基本操作

- ◆電源オン JPT1本体の電源がオフの状態ですら3秒間ほど押し続けると、LEDが青色に2度点滅して電源が入ります。
◆電源オフ JPT1本体の電源がオンの状態でMFBを3秒間ほど押し続けると、LEDが赤色に2度点滅して電源が切れます。(点滅し始めてすぐに手をはなした場合は、LEDが1度しか点滅しない場合もございます)
◆ペアリングモード (本体が他の端末に接続されていない場合は、電源が入った後すぐにペアリングモードに移ります。)

### 製品規格

製品サイズ 43.8mm x 43.8mm x 21mm
製品重量: 約18g
Bluetoothバージョン: 5.0
プロファイル: A2DP
有効距離範囲: 10M / Class 2
対応コーデック: aptX LL, aptX, SBC



### ハイブランドの音質とクオリティ

- 3. JPT1の電源ボタンを長押しして、LEDを青点滅(ペアリングモード)にします。
4. JPT1とワイヤレスイヤホンを近づけ、LEDが青点灯になるまで待ちます。
5. JPT1とTVのイヤホンジャックを3.5mmケーブルで繋ぎます。
6. イヤホンから音が聞こえたら接続完了です。

### ◆ペアリングリストを消去する

- 1. 使用中のモード(RX)のまま電源を切る
2. 電源が切れてから3秒以上待ち、モードを切り換え
3. 再度、電源を入れると、RXモードのペアリングリストが消去されます。
※電源ONの状態や、電源を切った直後3秒以内にはモードを切り替えないでください。

### ◆再生 / 一時停止

音楽再生中にMFBを短く押すと「一時停止」、再度押すと「再生」します。

### ◆ペアリング済の全ての端末を使用する

本体の電源を入れると、自動的に過去にペアリングした全ての端末を使用することができます。ただし、自動的に接続されるのは最後にペアリングした2台です。

### ◆自動シャットダウン

電池電圧が3.1Vを下回る、もしくは5分間いずれの端末にも接続されなかった場合、自動的に本体の電源が切れます。

### 保証書

保証期間: ご購入日より12ヶ月間。保証期間中、本機の品質原因による故障があった場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。

目次
P1 はじめに
P2 各部の名称 / 付属品
P3 ご使用になる前に / 充電について
P4 ~ P7 送信機モードでの使用方法
P8-13 TX(送信)モード時の基本操作
P14-15 2台同時接続(送信モード)
P16 ~ P18 受信機モードでの使用方法
P19-21 RX(受信)モード時の基本操作
P22 2台同時接続(受信モード)
P23 ペアリングについて
P24 充電しながら使う
P25 LEDパターン一覧
P26-27 製品規格
P28 ~ 保証書 / ご注意等

### TX(送信)モードに切り換え

スライドボタンでTXとRXモードを切り換える事ができます。



- 1. 電源オフの状態ですライドボタンをTXに切り換え
2. MFBを長押しして電源を入れてください。
※レシーバー(RX)モードのときにペアリングした端末の情報が全て削除されます。
※電源ONの状態や、電源を切った直後3秒以内にTX/RXスライドボタンを切り換えないでください。

### JPT1トランスミッター (TX:送信モード) で2台のBluetooth端末に同時接続する

- 1. 「端末A」「端末B」を用意します。
2. JPT1で「TX」モードを選択します(→P7)
3. 端末AとJPT1をペアリングします(→P12,1~3の手順)
4. ペアリングが完了したら端末AのBluetoothをオフにし、同じ手順で端末BをJPT1にペアリングします。

### JPT1トランスミッター (RX:受信モード) で2台のBluetooth端末に同時接続する

- ※JPT1をレシーバー(RX:受信機)としてご使用の場合、2台の端末と同時に音を再生することはできません。片方のスマートフォンで再生中、もう片方のスマートフォンは一時停止か、電源を切っておく必要があります。
1. 「スマートフォンA」「スマートフォンB」を用意します。
2. JPT1をペアリングモードにし、スマートフォンAとペアリングします。ペアリングが完了したらスマートフォンAのBluetoothをオフにした後、JPT1のMFBを素早く2度押し、ペアリングモードに移行させてください。
3. スマートフォンBをJPT1にペアリングします。ペアリングが完了したらJPT1の電源を切り、スマートフォンBのBluetoothをオンにして、JPT1の電源を入れます。およそ30秒後にJPT1と2台のスマートフォンが自動的に接続されます。

### 電池について

本製品の電池は充電式です。充電式電池が当初の性能を保てる為、最初の充電回数分のみです。充電自体は数百回も繰り返して行えますが、性能は徐々に劣化してきます。充電が終わった後の電池を充電器に接続したまま放置しないでください。過度の充電は電池の寿命を縮める可能性があります。

- はじめに
この度はJPT1 Bluetoothトランスミッター & レシーバーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
JPT1はBluetoothの送信機と受信機が一体となったワイヤレス・ファンクションアダプターです。Bluetoothトランスミッター(TX:送信機)としてご使用になれば、スマートフォンやウォークマン、TV、コンピューターなどからBluetoothレシーバー、ステレオ、ヘッドホン、スピーカー等へワイヤレスで音を送信することができます。
Bluetoothレシーバー(RX:受信機)としてご使用になれば、ヘッドホンのケーブルを本製品の3.5mmステレオミニジャックに接続することで、BluetoothステレオヘッドホンやBluetoothスピーカーを接続して音声データをワイヤレスで受信できます。
本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。

### TX(送信)モード時の基本操作

- ◆電源オン JPT1本体の電源がオフの状態ですら3秒間ほど押し続けると、LEDが青色に2度点滅して電源が入ります。
◆電源オフ JPT1本体の電源がオンの状態でMFBを3秒間ほど押し続けると、LEDが赤色に2度点滅して電源が切れます。(点滅し始めてすぐに手をはなした場合は、LEDが1度しか点滅しない場合もございます)
※電源を切った直後3秒以内は電源を入れ直さないでください。チップセットに電力が残留している可能性があります。
◆ペアリングモード (本体が他の端末に接続されていない場合は、電源が入った後すぐにペアリングモードに移ります。)

### マルチペアリングBluetoothトランスミッターとして使用する場合の互換性テストレポート

Bluetooth端末のチップセットはそれぞれ異なったファームウェア設定とオペレーションを持っていますので、スピーカーやヘッドホンの種類によってはJPT1と互換性がない場合があります。数回ペアリングをやり直してもスピーカーやヘッドホンから音声が聞こえて来ない場合は互換性に問題がある場合がございます。

### JPT1トランスミッター (RX:受信モード) で2台のBluetooth端末に同時接続する

- ※JPT1をレシーバー(RX:受信機)としてご使用の場合、2台の端末と同時に音を再生することはできません。片方のスマートフォンで再生中、もう片方のスマートフォンは一時停止か、電源を切っておく必要があります。
1. 「スマートフォンA」「スマートフォンB」を用意します。
2. JPT1をペアリングモードにし、スマートフォンAとペアリングします。ペアリングが完了したらスマートフォンAのBluetoothをオフにした後、JPT1のMFBを素早く2度押し、ペアリングモードに移行させてください。
3. スマートフォンBをJPT1にペアリングします。ペアリングが完了したらJPT1の電源を切り、スマートフォンBのBluetoothをオンにして、JPT1の電源を入れます。およそ30秒後にJPT1と2台のスマートフォンが自動的に接続されます。

### 環境に配慮した破棄処分

使用済の電子機器は通常のゴミと一緒に破棄できませんので、分別して処分してください。個人が処分する場合は、自治体の破棄物回収が無料で行われます。破棄の際は指定の回収場所に破棄する物を持って行ってください。小さな手間は掛ける事で、希少部品のリサイクルや有毒物質の正しい取り扱いに貢献することができます。



### 【ご注意】

Bluetoothトランスミッター(TXモード)としてご使用の場合、端末は4台までペアリングできますが、自動接続機能が優先して接続されるのは最後にペアリングした2台です。
【自動接続にかかる時間】
ペアリング済の端末数1台: 7秒以内
ペアリング済の端末数2台: 12秒以内
ペアリング済の端末数3台: 17秒以内
ペアリング済の端末数4台: 22秒以内
※電源ONの状態や、電源を切った直後3秒以内にはモードを切り替えないでください。

### Bluetoothレシーバー (RX:受信機) のご使用の場合



### ペアリングについて

- 1. 以前接続された事のある機器は、次にJPT1の電源を入れるだけで自動的に接続されます。JPT1を再度ペアリングモードにする必要はありません。
2. もし、正しい手順を用いてもヘッドホンやスピーカー等の機器が1分以上JPT1に接続されない場合は、本体のペアリングリストを消去し、再度ペアリングを行ってください。
※Bluetoothの仕様上、複数機器のBluetoothがONになっている場合に接続障害が発生する事がございます。ペアリングの際は、接続された「機器」以外のBluetooth設定はOFFにして接続をお試しください。(PC、スマートフォン、Bluetoothイヤホン、Bluetoothマウス、Bluetoothキーボード等。)

### 充電しながら使う

電池の連続使用時間には限りがありますが、本製品を長時間ご使用になる場合には充電しながら使うことができます(電圧が低いときやバッテリー残量不足のときに雑音が聞こえる場合があります)。
※充電しながら機器を使用した場合、青いLEDが紫になります。LEDパターンにつきましては詳しくは「LEDパターン」(→P25)をご参照ください。

- ご使用になる前に、JPT1本体とスマートフォン、テレビ、PC等のオーディオ端末(3.5mmステレオミニジャック対応のもの)を完全に充電してください。
充電について
初めてご使用になる際やバッテリー残量が少なくなった際は充電を行ってください。(本体稼働中にLEDインジケータが赤く3連続点滅したらバッテリー残量不足のサインです)
1. 充電用ケーブルのUSB側をアダプターかパソコンに接続してください。
2. 充電用マイクロUSB側を本体に接続してください。
3. 充電中はLEDインジケータが赤く点灯し、充電が完了すると消灯します。
4. 充電にかかる時間は約2時間です。

### ◆ペアリングリストを消去する

- 1. 使用中のモード(TX)のまま電源を切る
2. 電源が切れてから3秒以上待ち、モードを切り換え
3. 再度、電源を入れると、TXモードのペアリングリストが消去されます。
※電源ONの状態や、電源を切った直後3秒以内にはモードを切り替えないでください。

### 受信モードでの使い方 一例

スマホの音を有線イヤホンで聞きたい場合

- 1. 有線イヤホンのケーブルをJPT1に接続します。
2. スマートフォンのBluetoothをONにしてください。
3. JPT1をRXモードにします。(→P18)
4. JPT1の電源を長押しして、LEDを青点滅にします。
5. 点滅が青点灯に変わり、音が聞こえたら接続完了です。

### 充電しながら使う

電池の連続使用時間には限りがありますが、本製品を長時間ご使用になる場合には充電しながら使うことができます(電圧が低いときやバッテリー残量不足のときに雑音が聞こえる場合があります)。
※充電しながら機器を使用した場合、青いLEDが紫になります。LEDパターンにつきましては詳しくは「LEDパターン」(→P25)をご参照ください。

### お使いになったご感想など、商品レビューをご投稿いただけますか?

上記のQRコードを読み取ることでレビューページへアクセス可能です。
お客様の声は、今後の商品企画等の大きな力となります。